「県立高等学校教育課題研究指定校事業」～未来を担う人材の育成を目指して～

１１月２９日（火）に倫理選択クラスにおいて、「高校生を地域社会の担い手とする公民科授業の研究」と題する研究授業が実践されました。これは主権者教育の一環として行われたものです。当日は、長篠町内会の柴田区長を研究授業ゲストスピーカー、岐阜大学の田中伸准教授を研究授業助言者としてお迎えしました。町内会の現状と課題を柴田区長がお話をされ、解決策を生徒達がグループで話し合いをして発表しました。

「新しい税金を考えよう」～より良い社会を作るための租税のあり方～

１２月１９日（月）に「政治・経済」の授業で、「新しい税金を考えよう～新しい税収を確保するために今後日本政府がどのような税金を導入すべきか～」と題する授業が実践されました。これは税金のあり方について考察することで、より良い社会を作る主権者の育成を目指すものです。当日は、名古屋中村税務署の岡田嘉生様と川村加奈子様を研究授業助言者としてお迎えしました。生徒達がグループで新しい税金案を考え、税務署の方が各案は実現可能か否かアドバイスをくださいました。

この授業を通して、税金は「公平」「中立」「簡素」が原則であることを学びました。